

第13回 平和祈念こいのぼりまつり フォトコンテスト実施要項

平成 29 年 4 月 28 日
公益財団法人沖縄県平和祈念財団

1 目的

「平和祈念こいのぼりまつり」の広く一般への浸透を図るとともに、次回以降の財団の関係イベント等において使用するため、平和祈念こいのぼりまつりに関連して撮影した写真を募集する。

2 主催者等

公益財団法人平和祈念財団

3 募集写真のテーマ

第13回平和祈念こいのぼりまつり に関連する情景写真

4 応募に当たっての注意

- (1) 平和祈念こいのぼりまつりイベント期間及び前後の準備等期間中に撮影した未発表の作品に限る。また、他のコンテスト等との二重応募はできない。
- (2) 携帯やスマホ、デジカメ、使い捨てカメラなどを含め、撮影機材は問わない。
- (3) 作品提出は、電子ファイル(JPG 又は JPEG)による。
- (4) 応募作品は1人3点以内とする。
- (5) 応募写真、データは返却しない。
- (6) 撮影者本人以外の者が応募する際は、撮影者の承諾を得てから応募すること。
- (7) 応募作品は被写体の肖像権など、他者の権利侵害とならないよう承諾を得ること。
- (8) 応募作品の著作権は作者に帰属する。ただし、入賞者は、当財団が当該作品を当財団のホームページや他の広報物等において使用することを許諾するものとする。
- (9) 入賞者の発表は、財団ホームページに掲載し、入賞者に対して直接通知するほか、新聞等に公表することがある。

5 募集期間

平成 29 年 5 月 3 日～5 月 10 日（郵送の場合は当日消印有効）

6 応募方法

下記のいずれかの方法により提出すること。

- (1) 電子メールに『作品タイトル・撮影者氏名』をファイル名とした写真ファイル(JPG、JPEG。2～3M サイズ)を添付し、メール本文に(3)の事項を記載して下記まで送信すること。
- (2) DVD に、『作品タイトル・撮影者氏名』をファイル名とした写真ファイル(JPG、JPEG。2～3M サイズ)をコピーし、併せて Word 又は一太郎ファイルに(3)の事項を記載して保存の上、下記まで提出すること。
- (3) 電子メール又は DVD いずれの方法による応募の場合も、作品に『作品タイトル、撮影年月日、撮影場所、撮影者氏名、住所(番地まで記入のこと)、連絡用電話番号、被撮影者の承諾の有無(本人が識別できる場合)』を明記すること。
- (4) 送付・提出先

〒901-0333 糸満市字摩文仁444番地

公益財団法人沖縄県平和祈念財団「平和祈念こいのぼりまつりフォトコンテスト係」

メール送信先 : heiwakinezaidan@heiwa-irei-okinawa.jp

7 応募料

無料

8 審査

- (1) 審査は、平成 29 年5月中旬に行う(予定)。
- (2) 審査のポイント
 - ア 平和祈念こいのぼりまつりの趣旨を踏まえて対象をよく表現しているもの
 - イ タイトルが作品とマッチしているものや工夫がみられるもの

9 表彰

優秀作品数点を5月中旬から下旬にかけて公表、表彰する。

10 応募作品の展示等

- (1) 入賞作品は、平和祈念公園内関係施設等において展示する。
- (2) 応募作品については当財団のホームページに掲載し、又は当財団が主催するイベント等の広報で使用することがあるほか、マスコミや旅行雑誌、その他へ提供することがある。

《参考》

平成 28 年度 第 12 回平和祈念こいのぼりまつり

フォトコンテスト《選考結果》

平成 28 年 5 月 18 日
公益財団法人沖縄県平和祈念財団

第 1 席

① 作品タイトル「2匹の巨鯉」

- 撮影年月日
平成 28 年 4 月 29 日
- 撮影場所
平和祈念公園敷地内
- 撮影者氏名
坪内 謙(つぼうち けん)

★ 選定理由

本作品は天候に恵まれたこともあり、晴れ渡り白い雲がぽっかりと浮かぶのどかな平和祈念公園で巨鯉の大きさが実感でき、しっかりと風を捉え真一文字に悠然と泳ぐ鯉の姿をうまくシャッターチャンスに活かすことができた。また、池の水面を鏡のように使う発想が良く、青空の実体の鯉のぼりと水面に投影されたもうひとつの鯉のぼりのコントラストが良い。加えて、色とりどりのハスの花とミニこいのぼりが彩りを添えている。



第 2 席

② 作品タイトル「鯉と遊ぼ」

- 撮影年月日
平成 28 年 4 月 23 日
- 撮影場所
平和祈念公園多目的テラス広場
- 撮影者氏名
仲程梨枝子(なかほど りえこ)

★ 選定理由

子どもとこいのぼりのバランスが良い。躍動感があり遠近法でこいのぼりの大きさが実感できることに加え、鯉の色と青い芝のバランスが美しく、こいのぼりと一直線となった腕を伸ばした先にあるであろう夢と希望の未来をつかもうとする、子どもの日にふさわしい一コマである。後方の人物が切れてしまったのは惜しかった。



第3席

③ 作品タイトル「鼓動」

- 撮影年月日
平成28年4月30日
- 撮影場所
平和祈念公園敷地内
- 撮影者氏名
宮木厚志(みやき あつし)



★ 選定理由

背景のどこまでも深い青い空の色と鯉の赤のコントラストが印象的で、巨大こいのぼりのビニール素材をうまく活かして透かし見るはるか上空の太陽が、巨鯉の体内で輝くかのような効果が得られたのは作者の狙いどおりであろう。輝く太陽は魚体にツヤを与え、タイトルのとおり鼓動が聞こえてきそうである。

第4席

④ 作品タイトル「コイの季節」

- 撮影年月日
平成28年4月29日
- 撮影場所
平和祈念公園敷地内
- 撮影者氏名
藤田薫人(ふじた まさと)



★ 選定理由

画面に平和祈念堂の敷地から祈念堂の平和の鐘と少年の像を入れ、遠くに平和祈念資料館を望む構図として、これら平和公園のシンボルともいえるべき代表的な施設を写し込むことにより子どもの幸せと慰霊と平和の祈念という、平和祈念公園で開催されるこいのぼりまつりの趣旨が伝わるもので、「こどもの日」にふさわしい作品となった。しかしながら、タイトルの「コイの季節」については“恋”も連想させてしまったのは、作者の意図が分かりにくいものとなってしまったのではないか。

第5席

⑤ 作品タイトル「本番へ向け、最終調整」

- 撮影年月日
平成 28 年 4 月 29 日
- 撮影場所
平和祈念公園敷地内
- 撮影者氏名
藤田薫人(ふじた まさと)



★ 選定理由

平和祈念こいのぼりまつりのトレードマークとなった感のある巨大こいのぼりがゆったりと風をはらみ、緑の芝の上で赤い巨体がまさに離陸態勢に入った瞬間を捉えたもので、立体的で画面から浮き出してきたこの作品は、期間中何度もないシャッターチャンスを活かした秀作である。巨鯉のそばに人間が並びその大きさが実感できればなお良かったのではないかな。

審査員特別賞

⑥ 作品タイトル「ぐんぐん大きくな～れ！」

- 撮影年月日
平成 28 年 5 月 1 日
- 撮影場所
平和祈念公園多目的広場
- 撮影者氏名
藤原千鶴(ふじわら ちず)



★ 選定理由

今回応募の26作品中唯一の親子を題材に取り上げた作品で、わが子を抱き上げる母の笑顔と、母の腕の中で無邪気に笑う赤ん坊の雰囲気伝わってくる微笑ましい作品である。タイトルの「ぐんぐん大きくな～れ！」は、巨鯉にあやかれという意図があったと思われるが、奥の巨鯉の位置をもっと正面に配置してほしかったことと、逆光で母子が黒くつぶれてしまったことが残念であった。